



謹賀新年

今年も元気で！ 和光幼稚園



ちゅーりっぷ組の子どもたち

**【和光幼稚園園長 吉田 繁さんのあいさつ】**

新年あけましておめでとうございます。

一人一人の個性を大切に、伸び伸びとたくましい子どもを育てるため、昭和43(1968)年に創立されて以来、日々笑顔と元気な声のあふれる和光幼稚園です。令和6年には満3歳児の受け入れを始めました。

子どもたちの非認知能力を高め、将来社会の中で活躍できる子どもたちに育ててほしいと願い保育にまい進しております。園庭開放も行っていますのでぜひ遊びに来てくださいね。



真剣な表情で綱引きを競い合い、みんなでダンスを楽しむ和光幼稚園の運動会

和光幼稚園は、阪神・淡路大震災当時、避難所として園舎を開放するなどの協力をしてくれました。

今年はいよいよ30年。「子どもたちの笑顔に支えられ」と吉田先生。そんな園児たちから元気な新年のあいさつです。

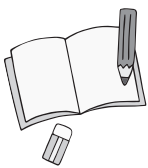
どうぞ、本年もよろしくお願いいたします。



# 『宮っ子』はみんなの力で作られています！

年6回、奇数月に発行される『宮っ子』は、西宮市民がボランティアで取材、作成、配布している地域情報誌です。それぞれの地域のトピックス、くらしのインフォメーション・イベントなどの情報を分かりやすく伝えています。今回は、大社地域版の制作過程を紹介します！

各地域に設置されている西宮コミュニティ協会の活動の大きな柱に『宮っ子』作成があります。大社コミュニティ委員会では2カ月に1回、大社公民館で定例会を開き、構成団体のスポーツクラブ21、社会福祉協議会、青愛協、PTA、各自治会などからの報告や行事予定などの情報交換を行います。



定例会はいつも わきあいあい

## 1 定例会議



## 2 編集会議



定例会後に編集会議を行い、報告された行事やお知らせなどを参考に、次号の『宮っ子』にふさわしいトピックを選定し、どのような誌面にするか話し合っって決定します。



より良い誌面作りのために真剣です

## 3 取材・編集



それぞれのトピックに合わせて、編集員が取材やインタビュー、写真撮影などを行い、原稿を作成します。

## 4 提出



作成した原稿を(株)小西印刷所へ提出。(株)小西印刷所は提出された原稿を「ゲラ」(印刷前のチェック用「校正紙」)に仕上げます。

## 5 最終確認



その後、西宮コミュニティ協会事務局や、地域の編集員の手で「校正」作業を行い、最終確認をして完成！印刷された『宮っ子』は、公民館や各戸へボランティアの手で配布されます。

西宮コミュニティ協会主催の広報セミナーで、昨年7月23日に株式会社小西印刷所を見学しました。



●今回、校正や製本などさまざまな工程を見せていただきました。中でも驚いたのは、業務用の巨大な印刷機も、家庭用プリンターと同じマゼンタ、シアン、イエロー、ブラックの4色で印刷していることです。実際に印刷された紙をルーパーでぞかせてもらいました。とても色鮮やかな写真が、4色の小さなドットの集まりでできているのを見て分かり、びっくりしました。その他にも、初めて知ることばかりでもっとも興味深かったです。編集員さんはもちろん、印刷の現場でも大勢の人々のおかげで『宮っ子』ができています。ことを知ることができました。

(編集員 難波めぐみ)

●今回の見学で、『宮っ子』の原稿がいかに多くの工程を経て仕上がるのか、『宮っ子』ができるまでの流れを知ることができて良かったです。

(編集員 森田節美)



# 防災の鍵は個人の準備と地域力

昨年元旦、能登半島地震が発生。また8月には、政府から「南海トラフ臨時情報」が発表され、一気に南海トラフ地震への緊張が高まりました。今年は阪神・淡路大震災から30年。この時の経験を次に生かすために、市と連携して地域団体でも、防災講座や訓練が行われています。

リスクを確認しました。中村さんは、市の防災備蓄状況や救急車の数を説明し、一人一人の準備の重要性を強調しました。講義後、参加

7月17日(大社公民館推進員主催/安井・大社地区社協協力)、西宮市防災危機管理課係長・中村昌康さんを講師に迎え、「防災講座〜災害に備えてできること〜」を大社公民館で開催しました。参加者は50人。最初に市から配布された「西宮市防災マップ」を使い、地域の災害

者は「わが家の装備品リスト」を見ながら、「公助が5%と聞き、自分たちで何とかしないといけない」「今一度、地域自治会などの組織としての防災について考え直さないと」など、グループで感想を共有し、地域力の大切さを再認識しました。引き続き、1月12日に、被



グループでも話し合いました



能登半島地震での市・消防局の救援活動を紹介するパネル(大社公民館ロビー)

災生活の中での「心のケア」「安心の場」づくりを体験する講座を企画していますので、どうぞ、参加してください。

## HAPPYハロウィン

### お菓子をもらったよ

#### 大社地区子ども会

ハロウィンは、元々は1年の収穫への感謝と、悪霊を追いつぶる儀式が一緒になったものだそうです。最近では、仮装をして楽しめるイベントになっています。



さあ、しゅっぱあつ



子ども「トリック・オア・トリート」。大人「ハッピーハロウィン」

そこで、大社地区子ども会は10月26日、ハロウィンのイベントを企画し、子ども14人、保護者10人が参加。子どもたちは、頭に被り物をするなど思い思いの仮装をして、近くの家々を訪れて菓子をもらいました。

菓子を配った皆さんも「ハロウィンは、よう分からんので緊張した」「何をあげようかと考えるのが楽しかった」との感想。子どもたちも「もっとおうちを回りたい」「たくさんお菓子をもらってうれしかった」と大喜び。「地域の人は、みんな優しくかった」と感謝の気持ちも述べていました。大人も子どもも楽しめたハロウィンでした。



※「お菓子をくれないといたずらするぞ」という子どもたちの合言葉

お身体の不調ご相談ください

# みち整骨院

〒662-0846  
西宮市室川町1-22メゾン夙川1F  
JR・阪神西宮駅より徒歩13分  
阪急夙川駅より徒歩13分  
阪神・阪急バス(中村停留所)より徒歩3分  
TEL. 0798-27-5916



詳しくは、みち整骨院 西宮

検索

Open  
火・水・木・金曜日  
AM 8:00~13:00  
PM 15:00~19:00  
土曜日 8:30~16:00  
第1・3日曜日 8:00~13:00  
Close  
月・第2・4日曜日・祝日



ボッチャのルールや補助具ランプの話を聞いています



# 大社小学校 コミュニティ・スクールだより つなく〜知恵と人と子どもの未来〜

## 地域の人と「ボッチャ」体験

大社小学校4年生は、「心のバリアフリーについて考えよう」という学習をしています。その学習の一つとして昨年9月30日と10月1日にボッチャを体験しました。

### 心のバリアフリー

#### 寄り添い、支え合う

ボッチャは、ヨーロッパで考案された障害者のためのスポーツで、パラリンピックの正式種目です。

当日は、西宮市社会福祉協議会の北山大喜さんの指導のもと、大社地区社会福祉協議



ランプ、どの位置がいいかな

会の方が審判、そして障害者施設の青葉園、ふれぼの通所さんが参加しました。子どもたちは、ボッチャをパラリンピックで知った子や、地区社協の行事で体験した子もいましたが、大半が初めてでした。最初に北山さんから、ボッチャのルールとともに、ボッチャは障害のあるなしに関わらず、全ての人が一緒に競い

合える競技で、自分でボールを投げることができない人は、補助具「ランプ」を使うことも教えてもらいました。

試合が始まると、だんだんコツが分かってくる、作戦を練ったり、青葉園やふれぼに通所する人が、投げるときにランプの位置を決めたりと、チームで協力することに気が付き、大いに盛り上がりました。

子どもたちからは、「ボールを転がすのが楽しかった」「こんなスポーツがあると分かって良かった」などの感想がありました。

最後に北山さんが「障害者スポーツは、障害者に寄り添って、ルールと用具を工夫しているのが特徴。このことを普段の生活に置き換えて、悩んだり、困ったりしている人がいれば、寄り添うことから始めてほしいです」と締めくくりました。

いつも『宮っ子』をご愛読いただき、また、配布をしてくださる皆さんや広告にご協力いただいている人たちに、厚くお礼申し上げます。編集部一同

【コミスクの問い合わせ先】推進員 朱宮・中畑 yoshi\_shumi@hotmail.com

### ★公民館講座 企画：大社公民館地域学習推進委員会 大社公民館(71-3649)

日時・場所	テーマ・講師
1月12日(日) I 10:00~12:00 II 14:00~16:00 大社公民館 講堂	「心のケア」と「安心の場」体験会 <b>被災生活の中で「安心」を手に入れる工夫</b> I・II 機織り(さをり織り)を生かした心のケア(ツナミクラフト) I 段ボールベッドづくり(西宮市防災危機管理課) II アレルギーを考慮した救援物資表示の工夫(西宮アレルギー患者と親の会「みやれっこほーむ」) 【共催】 安井・大社地区社会福祉協議会
2月8日(土) 14:30開演 大社小学校 ランチルーム	平和への祈りを <b>朗読劇「火垂るの墓」</b> 出演：陽なたの会(NPO法人シャクナゲ・子供の家) 【主催】 大社地区青少年愛護協議会 【事前申込】 申込方法など詳細はポスターなどで確認してください。
3月13日(木) 13:30開演 (13:00開場) 大社公民館 講堂	落語を楽しむ <b>大社寄席</b> 出演：落語家(七代目)笑福亭松喬 他 【事前申込】 申込方法など詳細はポスターなどで確認してください。

※諸事情により変更・中止になることがあります。掲示板などで確認してください。  
※申込方法など、詳しくは開講約1カ月前に、各自治会掲示板、大社公民館などに置かれるチラシなどでお知らせします

### ★「のびのびキッズ大社」事業

—大社地区青少年愛護協議会—

開催日時	事業名・場所	主催団体名
1月6日(月) 10:30~11:30 14:00~15:00	たこ作り (大社児童センター)	大社児童センター 大社コミュニティ委員会 スポーツクラブ21大社 大社地区青少年愛護協議会
2月8日(土) 14:30開演	朗読劇「 <sup>ほた</sup> 火垂るの墓」 鑑賞会 (大社小学校ランチルーム)	大社公民館地域学習推進委員会 大社地区青少年愛護協議会
未定	青葉園との交流会 (大社公民館講堂)	大社地区社会福祉協議会
3月1日(土)	みんなで楽しく遊ぼう (大社小学校校庭)	大社地区青少年愛護協議会